

秋の **ライティング支援連続セミナー**

知識と言葉をめぐる冒険～体験記～

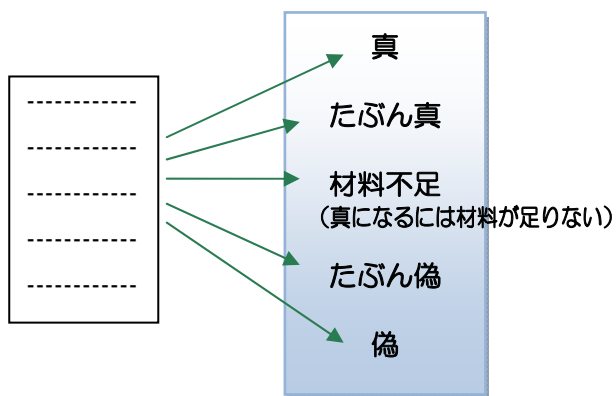
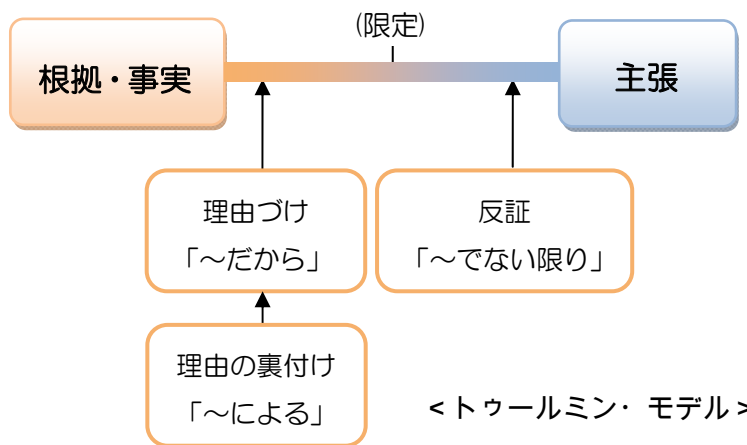
「大学で身につけたい言葉の力」 島田 康行 先生 (アドミッションセンター長)

Lesson 1 疑うことから始めようー批判的に読むー 11月20日 (水) 15:15～16:30

Lesson 2 考えの述べ方ー主張の構造ー 11月27日 (水) 15:15～16:30

中央図書館ラーニング・アドバイザー
 洪 昇基 (人間総合科学研究科)

2回に分けて行われた島田先生のセミナーで先生の最も強調されたことは、読む時の心構えを「批判的な観点、多角な面から読む」という風にもつことでした。まず、先生の紹介されたツールミン・モデルの説明を聴き、概念を理解しました。



次に、参加者が先生の持って来てくださったたくさんの例や練習問題の解決に取り組み、一緒に答えを考えてみる時間が設けられました。問題は、与えられた文章を読み、その文章に関する五つの解釈を左のように分けるとのことでした。

実際セミナーで出された問題を次のページに載せました。この体験記をお読みになっているみなさまも一緒に答えを考えてみませんか。以下の文章を読み、それぞれに当てはまるのを線でつなげてみましょう。

(出典：『批判的思考力を育む：学士力と社会人基礎力の基盤形成』p.119 楠見孝，子安増生，道田泰司編 有斐閣 2011.9)

東海地方の 200 人の高校生が、先ごろ週末を利用して、ある都市で開かれた討論会に自発的に参加した。この会では人種問題と、恒久的な世界平和を達成する方法という 2 つの問題が、今日の世界で最も重要な問題として生徒たちによって選び出され、討議された。



1. この大会に参加した生徒は、全体的に見て、人道主義や社会問題に対して深い関心をもっていた。	・	・	真
2. この大会に参加した生徒は、全体的に見て、人道主義や社会問題に対して深い関心をもっていない。	・	・	たぶん真
3. 東海地方の高校生は、全体的に見て、人道主義や社会問題に対して深い関心をもっている。	・	・	材料不足
4. この大会に参加した生徒のうち、何人かは、人種問題と世界平和達成の方法を討論するのは重要なことだと考えた。	・	・	たぶん偽
5. この大会に参加した生徒はだれも、人道主義と世界平和達成の方法を討論することは重要なことだとは考えなかった。	・	・	偽

いかがでしたか？私もセミナーに参加し、同じ問題に取り組んでみましたが、なかなかすべての正解を答えられませんでした。先生は、先行研究や他者の文書を読むときに、なぜか違和感を感じたら、疑って読むこと、つまり批判的思考で読むことを強調されました。さらに、先生は自分の書いたレポートや論文を他者の目を借りて検討してもらうことも大事だと教えてくださいました。先生のこのお話を聞いて、自分の修士論文に参考に行っている先行研究を考えると、批判的な観点ではなく、そのまま他者の主張していることを受け入れているのではないかと、反省しました。

それ以外にも、先生は「論理的な思考」で主張を構成する仕方を教えてくださいました。日本と米国の子供の作文タイプの比較を例としてあげてください、効果的な主張の仕方を、セミナーの参加者みんなが作文してみることで実感させてくれました。私は今回のセミナーを受けて、文章を読むことにおいて、疑うことから始めるということの大事さをあらためて知らせて頂きました。セミナーの内容は、論理的な思考に関するお話に加え、たくさんの練習問題を参加者の全員がやってみる機会がたくさんあったので、とても充実した内容だと思いました。これからレポートや論文を書き始める方には、ぜひ一度参加して欲しいセミナーだと思いました。



Web サイトはこちら。

<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/w5lib/?p=3401>



継続は力なり！！

今回のセミナーから、スタンプラリーを実施しました。
参加回数に応じて、素敵な図書館グッズがもらえます。